



ゆったりとした田舎時間を 「吉田村まつり」が開催されました

10月13日、本吉田の農協跡地で、地元有志が活気を取り戻そうと企画した「吉田村まつり」が開催されました。

このイベントは市が推進する「下野ブランド事業」を盛り上げるため、いろいろなアイデアを持ち寄り話し合う「下野ブランドカフェ」の中から生まれた催しです。

外国の片田舎のお祭りのような雰囲気、多くの来場者で賑わいました。



新庁舎建設現場に中学生の絵を展示 「下野市の明るい未来」

9月29日、現在施工中の新庁舎建設現場の、国道4号に面した仮囲いに、市内中学生の美術部が描いた絵が設置されました。

展示された絵は、「下野市の明るい未来」をモチーフに、各地域を題材として縦2メートル・横5メートルのパネルに約3か月かけて描きあげました。絵は、平成27年12月ごろまで展示される予定です。



関東道の駅アワード2014 ベスト30に道の駅しもつけ

読売新聞社主催による「関東道の駅アワード2014表彰式」が、9月11日によみうり大手町ホールで開催され、「道の駅しもつけ」がプレミアム30に選ばれました。

「プレミアム30」は、関東地方（1都6県+山梨県・長野県）にある149の道の駅の中から、現地でのアンケート調査などをもとに選定委員会が特徴ある30駅を選定し表彰するものです。



横綱 日馬富士関が子ども医療センター等を慰問 元気を与え続けられるような相撲を取りたい

9月11日、モンゴル出身で大相撲の横綱日馬富士関が、自治医大とちぎ子ども医療センターと、子どもの患者やその家族が利用する宿泊施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ」を慰問しました。

日馬富士関はモンゴルと日本で病気のある子ども達への支援活動に取り組んでおり、今回の訪問は、モンゴルの心臓病小児患者への医療支援を行っている「NPO法人ハートセービングプロジェクト」の理事で自治医大とちぎ子ども医療センターの片岡講師との約束を実現させたものです。